

平成 30 年度

吉賀町社会福祉協議会事業報告書

【目次】

平成30年度事業報告にあたって

I. 法人運営事業

II. 在宅福祉部

《1》総合相談支援課

(1) 総合相談支援所

①地域福祉事業

②小地域ネットワーク事業

③地域住民支援事業（ふれあいサロン）

④ボランティア事業

⑤在宅福祉サービスの推進

⑥福祉相談・援助事業

⑦共同募金事業

⑧シルバー人材センター事業

(2) 吉賀町訪問看護ステーション（訪問看護事業）

(3) 吉賀町ケアマネセンター（居宅介護支援事業）

(4) 吉賀町地域包括支援センター（地域包括支援センター事業）

(5) アスノワ（障がい者就労継続支援事業）

《2》介護保険課

(1) 吉賀町ホームヘルパーステーション（訪問介護事業）

(2) 六日市デイサービスセンター（通所介護事業）

(3) 七日市デイサービスセンター（通所介護事業）

(4) 柿木村デイサービスセンター（通所介護事業）

(5) 吉賀町訪問入浴事業所（訪問入浴事業）

III. 施設福祉部

《1》特別養護老人ホームみろく苑（介護老人福祉施設事業）

《2》特別養護老人ホームとびのこ苑（介護老人福祉施設事業）

《3》グループホームあさくら（認知症対応型共同生活介護事業）

IV. 苦情・要望の内容一覧表（H30年後）

平成 30 年度事業報告にあたって

吉賀町社会福祉協議会は「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念に、①住民主体を基本に支え合いと参加のまちづくり、②社会環境の変化と新たなニーズに対応した住民から望まれるサービスの提供、③専門性と実践力を高めた福祉人材づくりのための人を育て、人が育つ環境づくり、④無駄をなくし安定した経営の 4 つの基本目標の実現に取り組んできました。

ところが、平成 27 年の介護報酬の引き下げや、人口減少、在宅サービスの利用者の減少等の外的な環境変化により安定的な運営が困難となりました。こうした状況の中、吉賀町へ経営安定化に関する要望書を提出し吉賀町議会のご理解を受け今年度より三か年にわたる財政支援計画を策定していただきました。支援をしていただく条件として、社協の経営を今一度見直し、自主財源で安定的な運営を可能とするための 6 か年の中期事業計画（経営改善計画）を策定しました。中期事業計画は平成 31 年度から 6 か年にわたる BSC（バランス・スコア・カード）の作成と法人及び事業別の重点目標の設定、収支見込表の作成で構成しました。吉賀町の実情に即した福祉サービスの提供主体としての役割が果たせるよう、法人経営の健全化や透明性の確保に努めるとともに、計画を着実に遂行することにより、安定した自主経営への転換を図り、住民への福祉サービスが継続的に提供できることを目的としました。今年度は経営安定基盤を確立するための準備期間として位置づけました。

また、近年全国で多発している自然災害ですが、今年度は特に県内における島根県西部地震、7 月の豪雨災害や近県の被災地に県社協と連携しボランティアコーディネーターの派遣等災害支援活動を展開しました。

I. 法人運営事業

《今年度の具体的な主な取り組み》

○特別養護老人ホーム2カ所、デイサービスセンター3カ所の給食業務を委託から直営での運営方式に変更しクックチル方式の食事を提供することで、「食の安全・安心」が継続的に提供できる体制により委託費と光熱水費の大幅な経費の削減を実現しました。

○六日市・七日市・柿木のデイサービスセンターは3カ所が連携することでサービスの質の向上と稼働率の改善によるサービスの供給体制の充実を図りました。

○特別養護老人ホームみろく苑については開設後19年が経過し設備の更新が必要となっています。今年度は吉賀町からの設備整備の補助金に加え法人の自主財源により空調設備を更新し利用者が快適に生活できる環境整備を行いました。

○総合相談支援所「くらしもっと」では、事務所である福祉センターのセキュリティ対策として出入管理システム設備の工事を行いました。

○他人の困りごとを我が事として、制度を超えて丸ごと支援する「我が事丸ごと」の共生社会の実現に向けてプロジェクトチームを編成し障がい者就労支援事業所アスノワを中心にした事業計画の作成に取り組んできました。

[1] 社協活動の体制の基盤強化

(1) 役員

会長	齋藤勝輝（柿木地区）
副会長	木村與志雄（六日市地区）
理事	桑原恒夫（柿木地区）
理事	田村 惇（柿木地区）
理事	平田京子（七日市地区）
理事	齋藤弘子（朝倉地区）
理事	槇田祥恵（六日市地区）
理事	三家本博子（蔵木地区）
理事	永田英樹（吉賀町役場 保健福祉課長）
理事	吉森道子（特別養護老人ホームみろく苑施設長）
監事	上田重夫（六日市地区）
監事	石井澄男（柿木地区）

(2) 評議員

村上貢（柿木地区）
田口忠功（柿木地区）

赤松正（柿木地区）
小田善史（柿木地区）
横田通知雄（七日市地区）
小田圭二（七日市地区）
村本智（朝倉地区）
白井秀雄（朝倉地区）
手島秀知（六日市地区）
植木由美子（六日市地区）
能美直文（六日市地区）
朋澤公香（蔵木地区）
小田敦子（蔵木地区）

(3) 理事会の開催

第1回 5月2日
第2回 5月30日
第3回 7月17日
第4回 7月23日
第5回 8月10日
第6回 11月8日
第7回 12月21日
第8回 2月25日
第9回 3月14日

(4) 評議員会の開催

第1回 6月15日
第2回 8月10日
第3回 11月22日
第4回 12月27日
第5回 3月22日

(5) 部会の開催

・管理部会	第1回 5月25日	第2回 11月2日	第3回 12月20日
	第4回 3月11日		
・地域福祉部会	第1回 5月25日	第2回 11月1日	第3回 12月20日
	第4回 3月8日		
・監事会	第1回 11月6日	第2回 12月19日	第3回 3月8日

(6) 職員数 198名（男 42名・女 156名）

[2] 研修（事務局）

月別	研 修 内 容	場 所	参 加 者
5 月	シルバー人材センター先進地視察	鳥取県	事務局長 在宅福祉部長 他
	地域福祉推進委員会	松江市	事務局長
6 月	人権を考える企業等連絡協議会講演会	益田市	在宅福祉部長
7 月	社会福祉法人経営者協議会セミナー	出雲市	事務局長 在宅福祉部長
	市町村社会福祉協議会会長会	松江市	事務局長
	社会福祉法人指導監査説明会・研修会	益田市	事務局長
8 月	島根県健康福祉部圏域別公聴会	益田市	事務局長
	西日本豪雨災害の支援に係る情報共有会議	松江市	在宅福祉部長
	ふれあいネットワークまちづくり研修会	益田市	事務局長 他
9 月	社協トップミーティング	大田市	副会長 事務局長
	企業トップクラス人権・同和問題研修会	益田市	在宅福祉部長
	共生型サービス視察研修	下関市	事務局長 他
	生活福祉資金貸付制度説明会	浜田市	在宅福祉部長 総合相談支援 課長
	共生型サービス視察研修	美作市	事務局長 他
	しまね県民福祉大会	松江市	在宅福祉部長 他
	シルバー人材センター実務担当職員研修会	松江市	事務局長
10 月	高齢者福祉サービス経営セミナー	松江市	事務局長 在宅福祉部長
	全国老人福祉施設研究会議	札幌市	在宅福祉部長 施設福祉部長 他
11 月	石見地区シルバー人材センター事務局長会議	浜田市	事務局長
	地域公益活動社協担当者連絡会議	松江市	事務局長
	障がい福祉サービス経営セミナー	出雲市	事務局長 在宅福祉部長
12 月	高津川流域都市交流促進面談	益田市	事務局長
	ひきこもり支援研修会	出雲市	在宅福祉部長 他

	社会福祉法人地域公益活動推進セミナー	出雲市	在宅福祉部長 総合相談支援 会長
1月	ふれあいネットワークまちづくり研修会	益田市	事務局長 他
	共生社会フォーラム in 岡山	岡山市	在宅福祉部長 他
	社協トップセミナー	松江市	会長
2月	市町村共同募金委員会事務局長・担当者会議	松江市	在宅福祉部長 担当者
	福祉教育推進セミナー	松江市	在宅福祉部長 他
	総務担当部課長会議	松江市	事務局長
3月	社協事務局長会	松江市	事務局長
	生活困窮者自立相談支援人材養成研修	出雲市	在宅福祉部長 総合相談支援 課長

Ⅱ. 在宅福祉部

《 1 》 総合相談支援課

(1) 総合相談支援所

1 地域福祉事業

[1] 地域支え合い会議

(1) 事業概要

地域における福祉課題や、生活課題を共有し解決に向け、協議する場として今年度 2 回開催しました。さまざまな団体が集まることで、お互いの活動に関して発見や、情報共有の場にもなりました。地域団体にとっても社協や行政に直接意見できる場にもなり、お互いの活動の発展にもつながりました。

(2) 実施事業

① 開催日および参加人数

	朝倉地区	柿木地区	六日市地区	蔵木地区	七日市地区
第 1 回開催日 (人数)	6/6 (20 人)	6/14 (20 人)	6/12 (16 人)	6/8 (19 人)	6/11 (19 人)
第 2 回開催日 (人数)	10/17 (17 人)	10/23 (15 人)	10/12 (16 人)	10/11 (18 人)	10/24 (17 人)

② 参加者

自治会、民生児童委員、老人クラブ、婦人会、サロンリーダーなど地域で活躍されている団体、町役場、公民館、商工会、駐在所、保育所、社協、地域包括支援センターなど

③ 内容

前年度までに各地域で抽出された課題をもとに、どんな地域になりたいか、何を目指していけばよいか、また行政・社協・地域の立場でできることはなにかをグループで話し合いました。

[2] 地域支え合い推進会議

(1) 事業概要

地域支え合い会議をはじめ、各会議で抽出された福祉課題・地域課題を解決するために、吉賀町としてどのような仕組みがあればよいのかを協議しました。また地域づくりにおいて、各組織や団体が連携・協働するため

の契機とすることも意識して開催しました。

(2)実施事業

①開催日および参加人数

3月27日 (木) 25人

②参加者

各公民館単位で行う地域支え合い会議から代表者2名、学校、六日市病院、駐在所、商工会、よしかの里、行政（保健福祉課、企画課、教育委員会）、社協

[3]福祉委員の育成・支援

(1)事業概要

地域福祉推進のため、社協と住民の接点となり、ボランティアへの参加や民生委員と協力し地区内の福祉活動を行う福祉委員の育成と活動支援を行いました。

(2)実施事業

月日	研修内容	場所	参加者
6月17日	福祉委員研修会 1 福祉委員の役割 2 社協会費のお願いについて 3 研修会 中山間地域研究センター檜谷邦茂 氏 [始まっています小さな拠点づくり]	福祉センター	各地区 福祉委員

【福祉委員の活動内容】

- ・ 独居高齢者の見守り活動
- ・ 社協だよりの配布
- ・ 会費の徴収
- ・ 共同募金の募金活動

[4]住民会員制度の推進

社会福祉協議会の基盤である住民会員制度について趣旨徹底に努め、新規会員の推進を図り、社協財源の確保に努めました。

種別	世帯（団体）数	金額
一般	1,651 世帯	1,683,300 円
賛助	29 世帯	67,000 円
団体	1 団体	3,000 円
特別	11 世帯	33,000 円

[5]子育て支援の推進

(1)事業概要

子育ての悩みを相談できる保護者同士の仲間づくり、お子様の遊び場づくりの提供、子供を安心して生み育てる社会づくりを目的に、身近な地域

で住民同士が自発的に支えあう仕組みづくりとして、子育てサロンを推進し、安心して子育てができる環境づくりに努めました。

(2)実施事業

社協だよりで子育てサロンの啓発を行いサロンの参加者の募集を行いました。

保育所勤務経験のある方等（ボランティアセンター会員）が主体的にサロンの運営を行い、育児の悩みの解消や親同士で情報交換を行いました。

	七日市子育てサロン
対象者	小学校入学前の子とその親
場 所	七日市デイサービス 2階
開催時間	毎月第3金曜日
スタッフ	毎週 6～8名（登録8名）

月	参加人数	ボランティア数	月	参加人数	ボランティア数
4月	32	5	10月	19	6
5月	24	7	11月	14	7
6月	25	5	12月	14	5
7月	21	6	1月	10	7
8月	台風20号のため中止		2月	4	7
9月	11	5	3月	18	7
			合計	192	67

(3)研修

月別	研修内容	場所	参加者
10月	メディア講演会	吉賀町	ボランティア 7名 職員 2名

[6] 福祉教育の推進

地域の福祉課題や社会問題に対し、地域でお互いが助け合える力を育むために、ふれあいサロンを活用し福祉教育を行ったり、地域支え合い会議で地域の福祉課題を共有し解決に向けて検討を行ったり、ボランティアセンターとの連携をはかりながら住民主体の福祉の町づくりを推進し地域の活性化をはかりました。

日 程	内 容	場 所
平成 30 年 5 月 8 日	成年後見制度について	朝倉サロン
平成 30 年 6 月 4 日 22 日	高齢者福祉(座学) 擬似高齢者体験 レクリエーションの実施	吉賀中学校 (1年)

平成 30 年 7 月 18 日	障がい者差別解消法って？ 講師：市川社会福祉事務所 市川 知律氏	福祉センター
平成 30 年 7 月 25 日	障がい理解と啓発	柿木婦人会
平成 30 年 11 月 2 日	認知症について	朝倉小学校 (3,4 年生)
平成 30 年 11 月 1 日 6 日 29 日	高齢者理解 (理解) 社協事業所の見学	六日市小学校 5 年生
平成 31 年 2 月 23 日	災害ボランティア講演会 講師：日野ボランティアネットワーク 山下弘彦氏	福祉センター
平成 31 年 2 月 26 日	福祉教育実践発表	松江市

2 小地域ネットワーク事業

[1] 事業概要

地域の中で顔見知りや隣近所に住む人々が「見守り活動、安否確認、簡単な生活援助」などを助け合っで行う活動を地域で組織化し、安定・継続した活動にすることを目的に事業を推進してきました。

[2] 実施事業

23 地区で実施しました。また実施地区へのモニタリングを行い、活動状況の把握を行いました。元気旗揚げ運動は 14 地区で実施し、元気旗の更新を行いました。

啓発活動

月別	内容
8 月	上高尻地区で説明
8 月	下須地区で説明
8 月	ふれあいまちづくりネットワーク研修会(前期)
12 月	月和田地区で説明
1 月	ふれあいまちづくりネットワーク研修会 (後期)

【小地域ネットワーク実施地区】

	地区	開始年月		地区	開始年月
1	樋口	平成 13 年 9 月	12	立戸	平成 17 年 6 月
2	上高尻	平成 14 年 7 月	13	七日市 (奥)	平成 17 年 6 月
3	幸地	平成 15 年 1 月	14	有飯	平成 18 年 4 月
4	下高尻	平成 15 年 4 月	15	山根・田丸	平成 19 年 4 月
5	蔵木	平成 15 年 8 月	16	注連川	平成 20 年 12 月
6	朝倉	平成 16 年 4 月	17	沢田	平成 20 年 12 月
7	田野原・星坂	平成 16 年 4 月	18	六日市新町	平成 21 年 1 月

8	広石	平成16年 7月	19	野中	平成21年 7月
9	九郎原	平成16年 7月	20	七々村	平成22年 8月
10	初見・新田	平成16年 8月	21	横町・久保田	平成26年10月
11	立河内	平成16年 8月	22	下須	平成30年 5月
			23	白谷	平成30年 6月

【元気旗上げ活動実施地区】

	地 区	開始年月		地 区	開始年月
1	上高尻	平成23年11月	8	七々村	平成24年10月
2	河津	平成24年 5月	9	*栗の木(福川)	平成24年10月
3	*小野々(七日市)	平成24年 7月	10	山根・田丸	平成25年 1月
4	初見	平成24年 7月	11	*中原(柿木)	平成25年 1月
5	*坂本(柿木)	平成24年 8月	12	*白谷上住宅	平成25年 7月
6	新町	平成24年10月	13	*白谷上	平成25年 7月
7	蔵木	平成24年10月	14	幸地	平成26年 4月

※ *小字単位で旗揚げを開始した地区

③地域活動支援事業（ふれあいサロン他）

[1]事業概要

地域には高齢になり閉じこもりがちの方、今までの交流を継続できなくなった方など生活に寂しさや不安を抱えている方がおられます。住民である担い手と参加者が主体となり地域でお互いにつながるの持てる場所を作ることを目指し、事業を展開しました。各サロンで、参加者の減少、決まった人しか参加していない、男性の参加者が少ない、担い手が高齢化し後継者不足など様々な課題はあります。新しい取り組みとして車両の貸出を行い、外出支援ができるよう支援しました。サロンリーダー研修会は、サロンボランティア研修会と名前を変更し、リーダー以外のボランティアも参加可能にしたことで、参加者数の増加につながりました。

[2]実施事業

【実績】

NO	内容	数
1	サロン実施地区	34 地区
2	開催回数	307 回
3	参加延べ人数	4266 人
4	車両貸出	13 地区

【サロン実施地区】

	地区	開始年月		地区	開始年月
--	----	------	--	----	------

1	抜月	平成 11 年	19	六日市上	平成 18 年 6 月
2	樋口	平成 13 年 6 月	20	下須	8 月
3	朝倉	7 月	21	野中	8 月
4	上高尻	平成 14 年 8 月	22	福川	9 月
5	幸地	10 月	23	蓼野	12 月
6	下高尻	平成 15 年 4 月	24	六日市新町	平成 19 年 4 月
7	蔵木	4 月	25	白谷	4 月
8	田野原・星坂	9 月	26	山根・田丸	4 月
9	七日市(奥)	11 月	27	柿木	4 月
10	初見・新田	平成 16 年 4 月	28	椈谷	8 月
11	九郎原	4 月	29	木部谷・大野原	9 月
12	沢田	4 月	30	上七日市	平成 21 年 9 月
13	立河内	4 月	31	七々村	10 月
14	広石	6 月	32	横町・久保田	平成 22 年 7 月
15	注連川(東)	平成 17 年 1 月	33	河津	平成 23 年 7 月
16	注連川(西)	2 月	34	畑詰	平成 29 年 4 月
17	立戸	4 月			
18	有飯	平成 18 年 2 月			

[3]独居老人(福寿会)への支援

独居高齢者による組織である「福寿会」の親睦旅行への支援を行いました。

日程	場所	参加者
9月21日	広島市「ゆ〜ぽっぽ」	74名

[4]老人クラブ連合会への協力

高齢者の健康・生きがいをづくりとしての組織である「老人クラブ」の支援を行いました。

[4]ボランティア事業

[1]事業概要

町民のボランティア活動の振興を図るため、ボランティア組織の支援を行いました。また、災害ボランティアセンター講演会などで啓発活動を行い、ボランティアの育成に努めました。

[2]実施事業

(1)事業実績

訪問給食、軽度生活支援事業を中心に活動に取り組みました。また、研修会、講習会を開催しボランティア意識の啓発を図り、会員を募集する等組織の充実を図りました。児童生徒に対しては、サマーボランティアスクールを開催し、施設での福祉体験などにより福祉意識の高揚を図り、ボランティア活動への参加促進を行いました。

更に、江津市豪雨災害をうけ、災害ボランティアの派遣も行いました。

月別	内 容	参加者
5月	福祉センター、みろく苑周辺清掃活動	50名
6月	福祉施設周辺除草清掃活動（とびのこ苑）	56名
7月	江津市豪雨災害ボランティア	9名
	サマーボランティアスクール事前研修会	15名
8月	サマーボランティアスクール施設体験	21名
11月	サロンボランティア研修会	60名
12月	歳末たすけあい「おせち料理配食サービス」	59名
	あいサポーターチラシ配布（キヤ・サマートで配布）	80枚
2月	災害ボランティアセンター講演会	48名
3月	サロンボランティア研修会	53名
	ボランティアありがとう会	135名

5 在宅福祉サービスの推進

[1] 軽度生活援助事業(ふるさと福祉)

(1) 事業概要

高齢者等の方が「住み慣れた我が家で安心して暮らせるよう」軽度生活援助事業として、地域の方々の協力を得ながら支援を行いました。

(2) 実施事業

屋内作業は、居室の掃除を実施しました。屋外作業は、自宅周辺の除草を中心に実施しました。また、ヘルパーによる院内介助についても実施しています。

月別活動		(単位・件)		
月別	屋内作業	屋外作業	院内介助	合計
4月	1	3	7	11
5月	1	1	5	7
6月	0	0	2	2
7月	0	1	4	5
8月	0	0	6	6
9月	0	2	4	6
10月	0	3	4	7
11月	0	2	2	4
12月	0	2	1	3
1月	0	2	5	7
2月	0	0	7	7
3月	0	2	17	19
合計	2	18	64	84

[2] 訪問給食サービス事業

(1) 事業概要

週2回（月曜日、木曜日）、独居高齢者や高齢者夫婦等の世帯へ旬の食材を取り入れ、高齢者向けの栄養バランスのとれた食事を提供しました。

また、地域住民による独居高齢者の安否確認も併せて取り組み、日常的な変化にも気を配りました。

今年度から調理場を一本化し、福祉センターの調理室で全地区のお弁当の調理を始めました。

(2)実施事業

調理、配食ボランティアの協力により、週2回利用者へ食事の提供を行い、食材は安全安心な野菜等を使用するよう心がけました。

安否確認においては、配達ボランティアからも利用者の体調や認知症等の変化について情報が寄せられ専門機関へつなぐ事が出来ました。

①利用状況（単位：食）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期合計
食数	540	599	529	607	545	506	3,326
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期合計
食数	575	572	459	500	480	497	3,083
総合計				6,409食			

②活動状況

利用登録人数	93名
調理室	福祉センター
配食ボランティア	118名
調理ボランティア	51名

[3]福祉用具貸与事業

(1)事業概要

高齢者・障がい者等、福祉用具を必要とする方を対象に、日常生活の利便を図るため、介護用品を無料で貸し出しました。

また福祉用具の中では年数が経過し老朽化した用具もあったため、貸し出し時は点検を行いました。

(2)福祉用具貸出状況（単位：件）H31年3月現在

福祉用具	貸付件数	福祉用具	貸付件数
ベッド	43	歩行器	6
車椅子	29	シャワーチェア	1
松葉杖・四点杖	5	その他	15
ポータブルトイレ	13	貸出件数 合計	112

[4]住宅改良助成事業

(1)事業概要

在宅における高齢者、障がい者等の身体の機能低下や障がいを補い、その介護者の負担軽減を図る目的で住宅改修に係る費用の一部を助成する制度です。

住民の皆さんに利用しやすい事業となるよう、助成率を100分の20から100分の50とし、また助成対象工事を日常生活に必要な住宅内外の工事へ変更し、要綱を改正しました。

(2)実施事業

助成3件 総額390,000円

[5]吉賀町福祉センター管理運営事業

(1)事業概要

吉賀町福祉センターの適正な貸館業務を行うとともに各種点検業務等委託契約を締結し管理運営を行いました。町民の方が福祉増進の目的で気持ち良く利用できるように備品の点検や環境の美化に努めました。

(2)実施事業

- ・ 相談室は心配ごと相談や行政相談をはじめ、常時住民の相談に活用しました。
- ・ 福祉センターの利用促進や日常清掃等を行いました。
- ・ ボランティアの協力によりセンターの周りの美化活動を実施しました。
- ・ 町民が安心して利用できるよう、消防設備等の点検を行いました。

(3)年間貸出状況

利用	大会議室	中会議室	小会議室	調理実習室	トレーニング	相談室	合計
回数	35回	21回	45回	13回	13回	16回	143回
人数	1530人	283人	440人	170人	130人	114人	2667人

[6]福祉相談・援助事業

社会経済情勢の複雑化に伴い、特に低所得者や障がい者世帯等の生活は、不安定な状況にあり、生活意欲の助長と自立更生を目的に生活福祉資金をはじめ各種の貸付事務を行い、あわせて相談業務も行いました。

[1]生活困窮者自立支援事業

(1)事業概要

生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応じる相談窓口とし、生活困窮者が抱える課題を適切にアセスメントし、支援を行いました。また必要に応じ、関係機関との連絡調整やモニタリングなども行いました。

(2)実施事業

本人、家族、関係機関などからの相談に対して、生活福祉資金、民生融金など社会資源を活用しながら支援を行いました。

(3)相談件数

(単位：件)

月	相談件数	月	相談件数
4	3	10	0
5	0	11	2

6	2	12	2
7	1	1	1
8	0	2	2
9	0	3	1
		合計	14

[2]生活福祉資金事業

(1)事業概要

低所得者世帯に対し経済的自立を促す目的で資金の貸付を行っています。

(2)実施事業

生活福祉資金の相談を受け、書類等の作成を支援しました。滞納者に対し県社協や民生児童委員と連携を図りながら償還指導を行いました。調査委員会を年2回開催し適切な運営に努めました。また広報紙や民生児童委員定例会で事業の説明を行い、啓発に努めました。

(3)貸付件数

貸付件数（新規）	新規貸付決定額	償還完了
13（2件）	2,006,000円	0件

相談件数 (単位：件)

月	相談件数	月	相談件数
4	4	10	1
5	4	11	3
6	3	12	2
7	4	1	1
8	0	2	4
9	1	3	2
		合計	29

(4)研修

月別	研修内容	場所	参加者
5月	平成30年度益田地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会について	益田市	1名
9月	生活困窮者自立支援制度改正説明会	松江市	1名
9月	生活福祉資金貸付制度説明会	浜田市	在宅福祉部長、課長
3月	生活困窮者自立相談支援人材養成研修	出雲市	在宅福祉部長、課長

[3]民生融金貸付事業

(1)事業概要

低所得者に対し、日常生活上、緊急的に必要な資金を一時的に貸し付け、福

祉増進を図りました。

(2)実施事業

低所得者の相談に応じ、貸付の書類作成の支援を行いました。
また、長期滞納者に対して、民生児童委員と連携を図りながら訪問を行い、償還指導を行いました。

(3)貸付件数

貸付件数（新規）	新規貸付決定額	償還完了
17件（14件）	580,000円	10件

[4]ふくし何でも相談（心配事相談）事業

(1)事業概要

身近な相談場所として、地域住民の抱える人権問題・福祉問題等さまざまな心配ごとの相談に応じ、解決への糸口をみつけるため開催しました。

(2)実施事業

毎月、吉賀町福祉センターと柿木公民館の2つの会場で福祉何でも相談を開催しました。また、専門職相談として弁護士相談、行政書士相談、公証役場相談を開催しました。

相談状況

	ふくし何でも相談	弁護士相談	行政書士相談	公証役場相談
4月	1	2		
5月	0	1	0	
6月	0	1		2
7月	0	5		
8月	0	1	0	
9月	0	5		
10月	2	1		2
11月	0	3		
12月	0	3	0	
1月	1	4		
2月	1	3		
3月	0	7		
合計	5	36	0	4

[5]日常生活自立支援事業（地域権利擁護事業）

(1)事業概要

判断能力の不十分な方を対象に福祉サービス利用援助及び日常生活部分の金銭管理の支援を行いました。また、利用者の権利が守れるよう、県社協や各

関係機関等へ相談しながら適宜成年後見制度への移行支援を行いました。

(2)実施事業

(単位：件)

現利用件数	新規利用件数	終了件数
6 (内生活保護 1 件)	0	0

(3)研修

月別	内容	場所	参加者
6 月	日常生活自立支援事業専門研修会・連絡会	松江市	1 名
9 月	日常生活自立支援事業生活支援員研修会	浜田市	4 名

[6]法人後見事業

(1)事業概要

判断能力が不十分な方の後見人となり、被後見人の権利、財産を保護し安心して生活してもらうよう支援しました。益田・鹿足後見センターの定例会に毎月参加し、情報交換や職員のレベルアップをはかりました。また、日本社会福祉士会が行う成年後見人養成研修にも参加し、後見人として知識向上に努めました。

(2)実施事業

3 月末現利用件数	新規利用件数	終了件数
4	0	0

[7]訪問員配置事業

(1)事業概要

契約に基づき、見守り訪問員が利用者宅を定期的に訪問し、話し相手、相談、見守りなどを行う事業です。今年度の登録訪問員は 8 名で、利用者も 8 名でした。訪問員連絡会議や研修会を開催し、訪問員の不安の解消やスキルアップに取り組みました。また広く町民に事業の周知、募集を図るため、社協広報誌、チラシ等配布やふれあいサロン等で事業説明を行い、啓発に努めました。

(2)研修等

月別	研修内容	場所	参加者
6 月	第 1 回訪問員配置事業連絡会議	福祉センター	訪問員 7 名 職員 4 名
2 月	見守り訪問員研修会	福祉センター	訪問員 3 名

[7]共同募金事業

[1]事業概要

平成 30 年度においては B 募金 2,074,484 円の助成金を受け、各団体等へ配分することにより、地域福祉向上のため有効に活用されました。

共同募金の助成先

(単位：円)

事業内容	助成内容	助成額
老人福祉活動費	老人クラブ連合会へ助成（健康教室等開催）	140,000
障がい児・者福祉活動費	よしか音訳の会	50,000
福祉育成事業活動費	社協福祉委員育成・推進事業（福祉委員研修会を開催）	70,000
	社協だより発行事業（年 12 回発行）	392,000
	心配ごと相談事業（日頃の悩み・法律相談）	300,000
日常生活支援事業	給食サービスお手紙送付事業 お食事と一緒に心温まるお手紙	32,164
交流・イベント事業	福寿会交流事業	50,000
地域福祉事業	訪問員配置事業	257,000
助成事業	「手話サークル・手ペール」 交流・研修事業	31,250
	「抜月ふれあいサロン」 いきいき百歳体操備品購入	31,250
	「立河内ふれあいサロン」 集会所手すり取り付け	31,250
	「立戸老人クラブ」 いきいき百歳体操備品購入	31,250
	「注連川なでしこクラブ」 花壇設置	31,250
	「吉賀町剣道志龍館」 剣道タイヤ打込台	31,250
	「フレンズ」 スポンジテニス活動費	31,250
	「平家会」 芋煮会会場ドア改修工事	31,250
児童・青少年福祉活動事業	福祉教育推進 蔵木小学校 平和学習、地域の方との交流等	40,000
	福祉教育推進 蔵木中学校 くらぎフェスタ、地域の方との世代間交流等	40,000
	福祉教育推進 六日市小学校 平和学習・世代間交流会・学習発表会	40,000

福祉教育推進 六日市中学校 花壇の整備・PTA 奉仕活動	40,000
福祉教育推進 朝倉小学校 ワイワイ祭りで世代間交流等	40,000
福祉教育推進 七日市小学校 学校と地域のふれあい交流(七力祭り等)	40,000
福祉教育推進 吉賀中学校 高齢者ふれあい郷土料理講習会	40,000
福祉教育推進 柿木小学校 デイサービス利用者との交流活動	40,000
福祉教育推進 柿木中学校 保育所園児との世代間交流会等	40,000
福祉教育推進 福祉教育講演会開催	53,320
七日市子育てサロンへ助成 子育て中の親の悩みの相談等	120,000
B 助成合計	2,074,484

[2]歳末たすけあい運動の実施

歳末にあたり、あたたかいお正月を迎えていただく目的で「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンとして歳末たすけあい運動を展開しました。

(1)歳末お見舞事業

・47名へお見舞(みかん) 60,000円

(2)おせち料理お届け事業

・120名へおせち料理 197,052円

[3]平成30年度共同募金結果

共同募金は、民間の社会福祉活動を支える重要な財源であるという趣旨の周知を行い、募金運動を展開し目標額の達成に努めました。地域の方々のご協力により、一般募金と歳末たすけあい募金を合わせ、目標達成率は105.4%でした。また、災害に対する義援金の募集も行いました。

(1)一般募金 2,625,656円

(2)歳末たすけあい募金 376,500円

(3)災害に対する義援金 345,809円

①平成30年7月豪雨島根県災害 166,332円

②平成30年北海道胆振東部地震災害 61,341円

③平成30年7月広島県豪雨災害 106,500円

④平成30年7月豪雨岡山県災害 3,500円

⑤山口県平成30年7月豪雨災害 8,136円

(4)実施事業

月別	内容	詳細
4月	小中校長会で説明会	場所：吉賀中学校 参加者：課長・所長
7月	第1回市町村共同募金委員会事務局長・担当者会議	場所：松江市 参加者：澄川
10月 ～ 12月	共同募金運動	・戸別募金（募金ボランティア：福祉委員） ・募金の広報（募金の活用について）
11月	第13回チャリティーゴルフ大会（徳山カントリークラブにて）	・47名の参加
	街頭募金（きんさいみんさい・農業文化祭）	・六日市地区：六日市中学校生徒 ・柿木地区：柿木小中学校児童・生徒
	福寿会旅行	・74名の参加
12月	歳末たすけあい募金運動	・戸別募金（募金ボランティア：福祉委員）
	法人募金運動	・企業、法人（募金ボランティア：社協役員）
	第12回歳末チャリティー余芸大会（吉賀町ふれあい会館にて）	・ボランティアによる、舞踊や歌の披露 入場者 約230名
	職域募金運動	・役場、高校、企業等へ募金のお願い
2月	第2回市町村共同募金委員会事務局長・担当者会議	場所：松江市 参加者：事務局長、板垣

8 シルバー人材センター事業

[1]事業概要

設立から5年が経過し、順調に事業が伸長しました。

会員数は、入会数7名、退会数4名で78名となり、昨年度と横ばいの状況となりました。

受託件数は、目標600件に対して622件となり、目標を達成しました。

契約金額は、目標1,500万円に対して請負金額が約1,450万円、派遣金額が約70万円となり目標金額を上回りました。

草取り・草刈り・剪定・障子張・ふすま張・農作業・清掃・大工仕事・空き家の片づけなど多様な受注が増え、派遣事業の取り組みも開始しました。また、企業や家庭からの発注数も前年度より増加しました。

各会員の可能な仕事に限られるため、草刈りや剪定の作業に対する一部の会員の負担が増大している課題があり、負担軽減には、新規会員の拡大が急務です。

作業中の事故は、小規模な物損事故は3件ありましたが、大きな事故はありませんでした。

[2]実施事業

(1)会員の加入状況について

①会員数 78名 (3月末現在)

②平成30年度入会者7名

③平成30年度退会者4名

(内 訳)

(単位：人)

地区別	蔵 木	六日市	朝 倉	七日市	柿 木	合 計
男 性	8	17	1	11	16	53
女 性	0	17	2	2	4	25
合 計	8	34	3	13	20	78

(2) 吉賀町訪問看護ステーション (訪問看護事業)

1、事業概要

訪問看護は「予防的な視点を持ち持っている力を引き出す看護」という目標のもと常勤看護師6名(うち3名は兼務)、非常勤看護師2名で在宅生活の支援を行った。フィジカルアセスメントを継続的に行い、全身状態の変化に応じた判断をし体調の変化・悪化の早期発見、早期対応に繋げた。高齢の利用者も多いため、普段の生活に合わせた関わり方で生活指導を行うように配慮して対応した。

24時間体制を含めた対応により難病、がん末期の在宅支援を展開することで、重度の状態であっても自宅で過ごせるようにケアを工夫し、ご利用者、ご家族の要望に近づくようつとめた。県外の利用者の訪問も行い、健康状態の維持に加え、診療の補助もつとめた。医療機関との連携は入院の際の訪問看護サマリーを早期に提供し、必要時には直接医療機関に伺って使用機器・物品の確認や留意点などについて情報の共有ができるように対応した。デイサービスセンター・グループホームの看護業務の支援を行うことで事業所間の連携協力体制も継続的に行っている。今年度の新規契約者は18件であった。

2、実施事業

(1)利用状況

月別	介護保険		医療保険	合計
	介護 給付	予防 給付		

4月	実人数	27	11	10	48
	利用回数	110	53	20	183
5月	実人数	24	12	5	41
	利用回数	103	50	20	173
6月	実人数	25	12	6	43
	利用回数	116	42	22	180
7月	実人数	26	16	7	49
	利用回数	118	43	20	181
8月	実人数	24	10	6	40
	利用回数	116	35	19	170
9月	実人数	24	10	5	39
	利用回数	94	33	17	144
10月	実人数	25	9	6	40
	利用回数	116	36	39	191
11月	実人数	24	9	6	39
	利用回数	114	31	40	185
12月	実人数	25	9	7	41
	利用回数	91	24	41	152
1月	実人数	23	9	6	38
	利用回数	94	25	42	161
2月	実人数	23	11	5	39
	利用回数	96	32	26	154
3月	実人数	26	12	6	44
	利用回数	108	37	26	171
合計	利用回数	1166	388	312	1866

3、職員研修（研修、会議等）

月	研修内容	場所	参加者
6月	PCAポンプについて	六日市病院	5名
	権利擁護研修	福祉センター	5名
	衛生管理研修	福祉センター	5名
7月	腹膜透析研修	福祉センター	5名
8月	地域包括ケアシステム研修会	福祉センター	1名
	小児在宅医療	出雲	2名

	接遇マナー研修	福祉センター	4名
	フィジカルアセスメント	出雲	2名
10月	益田圏域精神がい者地域生活移行・ 地域定着支援従事者研修会	益田	1名
	看取り研修	松江	2名
	メンタルヘルスケア研修	福祉センター	5名
	ハラスメント研修	福祉センター	1名
11月	フィジカルアセスメント	益田医師会	2名
	緩和ケア事例検討会	益田赤十字	1名
12月	家族支援研修会	益田医師会	1名
1月	精神保健福祉講演会	益田福祉センター	1名
2月	訪問看護研修	出雲	1名
	集団指導	浜田	1名
3月	障がいについて	福祉センター	1名
	こころの講座	保健センター	2名

(3) 吉賀町ケアマネセンター（居宅介護支援事業）

1、基本方針

介護保険被保険者が要介護状態になった場合、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して支援を行いました。ご利用者様の選択により、心身の状況、その置かれている環境に応じて適切な保健・医療・福祉サービス等の多様なサービスと事業所の連携調整を行い総合的かつ効果的に居宅サービスが提供されるよう努めました。今年度は特に以下の三点について重点的に取り組んでまいりました。地域包括ケアシステムの推進のため、「医療・介護連携の強化」「適切なケアマネジメントの推進」「市町村との関係づくり」等を行いながら各部署と連携し相談支援を迅速に行えるように努めました。法令遵守で業務を行うため引き続き研修や自己研鑽に努め、業務改善が図れるように努めました。

今年度の傾向としては、平成29年度は、月平均125件で平成30年度は平均129件と月平均4.5件増加している。利用実績は平成29年度と比較して55件の増加となっている。（平成28年度は137件減、平成29年度は40件減と減少が緩やかになった。）平成30年度は一昨年度の件数より増加している。

これは、高齢化とともに要支援から要介護者に移行するものが増えてきたことと、入所等が落ち着いたことが考えられる。内訳は昨年度に比べ全体的な延人数が要介護2（21件）、要介護3（3件）と全体的な減少が見られる。その反面、要介護1（28件）、要介護4（40件）、要介護5（11件）と増加が見られた。全体的には、介護1・2の利用者が約8割を占めている。利用者減少が毎年続いていたが、今年度は増加傾向にあった。今後、在宅での継続支援を行うにあたり、認知症を含め軽度者の方が、本人、家族ともに安心して住み慣れた地域で暮らせるように、住環境等住みやすい地域づくりをしていくことが課題である。また、自立支援に向けて医療と介護等の専門職や多職種との連携を図ることが必要である。

平成29年6月から津和野町の介護予防ケアマネジメントの受託を受けておりましたが、居宅の利用者の増加等もあり平成30年3月末までで契約解除となりました。全体的な延人数は60件。内訳は、要支援1（24件）要支援2（36件）でした。

2、実施事業

[2] 職員体制

- ・管理者（主任介護支援専門員兼務）……………1名
- ・介護支援専門員（常勤職員）……………4名

居宅介護支援業務

- (1) 居宅サービス計画の作成 介護 1550件（月平均129.1件）
- (2) 介護予防ケアマネジメント計画の作成 要支援 60件（月平均5件）
- (3) 要介護認定調査 101件（月平均8.4件）
- (4) 住宅改修支援事業 3件
- (5) サービス担当者会議開催
利用者毎自宅、病院等で開催（新規、更新時、変更時、入退院（所）時）
- (6) モニタリング（毎月の訪問、事業所との随時連絡調整）
各事業所から、サービス提供状況についての報告
- (7) 給付管理
- (8) 地域包括支援センターとの連携
 - ・要介護から要支援へ、又要支援から要介護へ移行する高齢者に対して情報提供や同行訪問を行い継続した支援を行った。
 - ・困難事例の相談、担当者会議の参加、同行訪問を依頼し支援を行った。
 - ・ケアマネジメント支援会議(個別ケース)の事例提出含む 月1回

- ・地域ケア会議 開催時

(9) 関係機関との連携

- ・医療介護連携会議 年 6 回
- ・総合相談課連絡会議 年 12 回
- ・認知症初期集中チーム 年 12 回

(10) その他

- ・ケアマネ伝達会議週 1 回開催
- ・介護支援専門員実務研修見学実習生受け入れ（今年度はなし）
- ・24 時間連絡体制を確保し、必要に応じて相談業務を行った。

居宅介護支援費提出状況

月別	介護給付					合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4 月	61	36	10	12	4	123
5 月	65	37	11	12	6	131
6 月	66	38	10	12	5	131
7 月	67	33	11	14	4	129
8 月	63	37	11	11	4	126
9 月	61	36	10	12	3	122
10 月	59	37	13	13	4	126
11 月	59	36	20	11	3	129
12 月	61	35	22	14	4	136
1 月	65	33	17	13	3	131
2 月	71	32	17	12	3	135
3 月	70	31	16	11	3	131
合計	768	421	168	147	46	1550

(要介護 1・2→12,110 円、要介護 3・4・5→15,730 円)

(要支援 1・2→9,000 円 新規→12,000 円)

[3] の他業務

- (1) 在宅福祉等に関する各種総合相談
- (2) 福祉用具の紹介
- (3) 保健福祉サービスの利用申請手続きの受付、代行、その他
(配食、軽度生活援助事業、養護老人ホームぎんなんショートステイ等)
- (4) シルバー・ボランティアセンターへの相談、連絡

1、研修

月別	研修内容	場所	参加者
5月	H30年度認定調査員研修会	浜田市	1名
6月	主任介護支援専門員更新研修	浜田市	1名
7月	主任介護支援専門員更新研修	浜田市	1名
8月	主任介護支援専門員更新研修	浜田市	1名
10月	H30年度認定調査員等研修会	益田市	4名
	H30年度キャラバンメイト養成講座	出雲市	1名
11月	スーパービジョン型事例検討会	益田市	4名
11月	第16回島根県介護支援専門員協会研修大会	出雲市	3名
12月	H30年度主任介護支援専門員フォローアップ研修会	浜田市	2名
3月	H30年度介護保険サービス事業者集団指導	浜田市	2名

2、苦情・要望について

・件数・・・0件

3、事故報告について

・件数・・・0件

4、活動車購入（1台）

・ダイハツムーブ（島根50 は7675）を3月廃車し

3月16日新車1台購入 ダイハツタント 島根580や9434

（4）吉賀町地域包括支援センター（地域包括支援センター事業）

1、事業概要

くらしもっと窓口の一事業所として、総合相談業務に重点を置き業務を行いました。特に複合的な問題を抱えるケースに対してはアウトリーチなどにより積極的な支援を行うよう努めました。また、2017年度末くらしもっと窓口のモデルとなった掛川市への視察研修を実施したことをもとに、くらしもっと窓口がさらに充実していくために検討しています。加えて、今後増えると予測される認知症の方とそのご家族への支援については、2018年度から定期開催されている認知症初期集中支援チームでの会議で対応を検討しています。

2、包括的支援事業

[1]総合相談業務

気軽にできる相談窓口として、くらしもっと窓口内の部署と連携し、総合相談業務を行いました。特に本人・家族以外からの相談ケースについては、積極的にアウトリーチを行い、かくれた問題やニーズの把握に努めました。

新規相談件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・204件
 後見に関する相談・・・・・・・・・・・・・・・・17件
 施設サービスに関する相談・・・・・・・・・・71件
 要支援者・事業対象者に関する支援・・・・2,986件

[2]権利擁護業務

認知症や障がい等で判断力が低下している方が、地域で安心して暮らすことができるよう日常生活自立支援制度や成年後見制度の周知をはかりました。虐待に関する相談や通報に関しては、行政と連携をとりながら迅速に対応することを心がけて随時コアメンバー会議を開催しました。また高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム（弁護士・社会福祉士）と定期的な相談会及び連絡会を開催し、高齢者・障がい者虐待対応についての検討を行いました。

成年後見相談件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
 益田鹿足後見センター定例会出席回数・・・・3回
 コアメンバー会議開催回数・・・・・・・・・・・・14回
 高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム相談会開催回数・・6回

[3]包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域ケア会議の一部である個別ケース会議とケアマネジメント支援会議を開催し、ケース検討と地域課題の検討を行いました。また、いつまでも住み慣れたまちづくりのための医療・介護の連携推進を目的に、六日市病院・行政・保健所・各福祉事業所で定期的に在宅医療・介護連携会議を行い、情報交換や入退院時の課題の解決に努めました。

地域ケア会議開催回数・・・・・・・・・・・・・・・・・・34回
 （内、ケアマネジメント支援会議での事例検討数 12件）
 在宅医療・介護連携会議開催回数・・・・・・・・・・6回

[4]介護予防ケアマネジメント業務

事業対象者及び要支援1、2の介護予防ケアマネジメントを行いました。介護予防ケアプラン件数は、年間合計1,633件でした。

a 介護予防支援（介護保険ケアプラン）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	26	29	29	28	26	27	25	25	25	25	27	27
要支援2	48	51	55	53	46	49	50	50	53	50	53	56
計	74	80	84	81	72	76	75	75	78	75	80	83

b 介護予防ケアマネジメント（総合事業ケアプラン）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

							月	月	月			
事業対象者	29	32	32	25	24	23	24	23	22	22	22	22
要支援 1	12	13	12	11	11	10	11	11	14	13	11	12
要支援 2	21	21	20	21	23	26	27	25	23	18	15	19
計	62	66	64	57	58	59	62	59	59	53	48	53

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計(a+b)	136	146	148	138	130	135	137	134	137	128	128	136

3、一般介護予防事業

- ・若返り測定隊(教室版) (5回実施) のべ156人参加)
- ・若返り測定隊(出張版) (8回実施) のべ106人参加)
- ・骨折転倒予防教室 (12回実施) のべ397人参加)
- ・からだ爽快教室 (12回実施) のべ656人参加)
- ・認知症予防講演会 (1回実施) 55人参加)
- ・言語聴覚士サロン訪問 (1か所実施) 41人参加)
- ・脳いきいきサロン訪問 (7~8回×4か所実施)のべ472人参加)

4、認知症対策事業

- ①キャラバン・メイト養成講座 (新規6人参加)
- ②認知症サポーター養成講座 (2回開催) のべ29人参加)
- ③認知症介護者の会 (11回開催) のべ51人参加)
- ④キャラバン・メイト連絡会 (1回開催)
- ⑤認知症初期集中支援チームチーム員会議 (11回開催)
- ⑥認知症対策実務者会議 (1回開催) 5名参加)

5、研修等報告

実施月	行き先	用務	参加人数
5月	浜田市	権利擁護推進員養成研修(実践事例発表)	1名
	出雲市	県地域包括センター長及び理事会	1名
6月	浜田市	主任介護支援専門員更新研修	1名
7月	松江市	コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修	1名
	山口市	社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(山口大会)	1名
	山口市	社会福祉士全国大会・社会福祉士学会(山口大会)	1名

	博多	地域包括支援センター職員基礎研修	2名
8月	益田市	市民後見啓発講演会	2名
	浜田市	あいサポート運動メッセンジャー養成研修	1名
	松江市	コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修	1名
	益田市	介護保険制度の動向と介護支援専門員の課題	2名
	大阪	認知症地域支援推進員研修	1名
	益田市	市町難病対策担当者連絡会	1名
	松江市	アルコール関連問題関係者会議	1名
	出雲市	相談支援従事者スキルアップ研修	1名
9月	下関市	共生型サービス視察研修	2名
	益田市	アドラー心理学で学ぶリーダー研修	3名
	浜田市	島根県地域包括支援センター連絡会	1名
	美作市	共生型サービス視察研修	2名
10月	益田市	益田圏域女性に対する暴力対策関係機関連絡会	1名
	益田市	精神障がい者地域移行・地域定着支援事業従事者研修会	1名
	松江市	引きこもり支援担当者会議	1名
	松江市	社会福祉士実習指導者講習会	1名
	出雲市	島根県介護支援専門員協会研究大会	6名
	益田市	こころの相談従事者研修会	2名
	松江市	コミュニティソーシャルワーカー実践基礎研修	1名
益田市	スーパービジョン型事例検討会	1名	
11月	浜田市	主任介護支援専門員フォローアップ研修	2名
12月	浜田市	自立支援に向けた地域ケア個別会議研修会	3名
1月	益田市	緩和ケア研修・益田圏域地域包括連絡会議	1名
2月	益田市	高次脳機能障がい者支援ネットワーク	1名
	広島市	包括業務研修	1名
	浜田市	ファシリテーション研修	1名
	益田市	益田鹿足地区生活支援会議	2名

6. 障がい者相談支援

障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう相談支援事業を実施しています。

[障がい計画相談支援件数]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計

モニタリング	6	4	6	8	4	5	8	5	6	4	2	4	62
計画作成	1	5	2	1	2	0	1	2	1	3	1	0	19

(5) アスノワ（障がい者就労継続支援事業）

1、事業概要

障害者総合支援法に基づき、平成29年5月より障がい者就労継続支援事業所アスノワ事業を開所し、2年目が過ぎた。今年度も利用者から信頼される、職員の資質を高める努力を行った。障がいのある方への支援技術を習得する目的に、「障がい者の理解」を進め、一人一人の障がい特性を知り、指導の技術を向上するよう努力した。利用者との適切な関係をつくる中で、事業所の目的である利用者の個性を大切にしながら、各々の長所を見つけ、可能性を最大限伸ばせるよう支援を行った。

作業においては組織内の特別養護老人ホームの清掃活動、道の駅やくろの環境整備を行い、実践的な仕事の訓練ができる環境を提供した。また、あかまつ工業の建築資材の内職や子育て支援に活用する子供エプロンの裁縫等、本人の得意とする技術を生かした作業にも取り組んだ。昨年度に比べ、利用者が増え、大幅に仕事の量も増加した。

閉じこもりがちであった方を就労の面から、地域包括支援センター職員と連携を図り、社会とつながることができるよう、支援を展開した。

2、実施事業

(1) 利用実績

①利用者定員：20名

②利用状況：利用者平均年齢 62歳（2019年3月31日現在）

③障害種別：身体・知的・精神・難病等

月	開所 日数 (日)	利用者 人数 (人)	述べ 利用 人数 (人)	1人平均 勤務時間 (H)	利用率(%) (1日平均利用 /定員)
4月	25	7	153	86	(6人) 30%
5月	27	10	174	67	(6人) 30%
6月	26	12	203	63	(8人) 40%
7月	26	12	220	66	(8人) 40%

8月	27	13	218	69	(8人) 40%
9月	25	14	244	64	(10人) 50%
10月	27	16	276	65	(10人) 50%
11月	26	16	268	63	(10人) 50%
12月	24	15	234	59	(10人) 50%
1月	24	16	239	66	(10人) 50%
2月	24	15	294	74	(12人) 60%
3月	26	15	271	70	(10人) 50%
合計	307	161	2,794	812	(9人) 45%

④作業内容

受託先	作業場所	作業期間	収入額
農家	野菜の袋詰め	6月～	27,540円
社協等	名刺作り	通年	31,428円
裁縫	子供エプロンの作成など	通年	157,796円
セテイ	食事の配達・配膳	通年	804,000円
グループホーム	食事の配達	8月～	378,000円
社協	配食サービスの配達	通年	148,500円
あかまつ工業	建築資材の内職作業	通年	213,699円
吉賀町農業公社	やくろ周辺の環境整備	通年	608,256円
吉賀町	保健センター館内の清掃	隔月	153,420円
吉賀町	クリスマス交流センター厨房等の清掃	11月～	57,542円
社協	福祉センターの清掃	通年	135,000円
とびのこ苑	館内の毎日清掃	通年	960,000円
みろく苑	館内の毎日清掃	通年	1,500,000円
		合計	5,175,181円

⑤支払工賃について《参考》

年間：2,239,650円支給

(金額：平均)	島根県目標額	アスノワ実績
月額	19,506円	14,079円

時間額	232円	210円
-----	------	------

3、その他

1) 組織内研修 (吉賀町社協)

実施	研修内容	講師 (所属)	参加者
5月	掛川市視察研修の報告	掛川市視察者	所長 職業指導員
6月	アスノワ事業所の説明	職業指導員 生活支援員	生活支援員 職業指導員
7月	高齢者・障がい者のための権利擁護支援	市川知律 社会福祉士	所長 生活支援員 職業指導員 (3名)
8月	マイクロカウンセリングについて	小浜みどり ケアマネ	職業指導員
9月	わさびの里視察	わさびの里職員	生活支援員 職業指導員
	くらしもっとフロアについて	総合相談支援課職員	所長 職業指導員
10月	接遇マナー研修	畑岡直喜	所長 生活支援員 職業指導員 (3名)
	感染症予防について	上野沙弥佳 看護師	所長 職業指導員
	交通安全運転教室	津和野警察署職員	所長 職業指導員 (3名)
11月	シルバー人材センターについて	板垣楓 シルバー職員	所長
	ほぐしミニ講習会	マッサージ師	職業指導員
12月	あらためて社協とは	益成匡 社会福祉士	所長
2月	家計相談支援	溝口 正剛 ファイナンシャルプランナー	所長 職業指導員 (2名)
	災害ボランティアセンターについて	山下 弘彦	職業指導員

3月	こころの講座	山根和成 保健師	所長 職業指導員（2名）
	障がい者の理解研修	阪田 健嗣 社会福祉士	所長 職業指導員（2名）
	発達障がいの基礎を学ぶ	大野 貴子 医師	生活支援員 職業指導員（2名）
	柿木地区福祉ゾーン合同 自衛消防訓練	益田地区広域消防 柿木分遣所	所長

2) 事業所外研修・会議

実施月	研修内容	場所	参加者
6月	平成30年度第1回益田・鹿足地区生活支援会議	益田市	生活支援員
	平成30年度第1回益田障がい者就労・生活支援センター連絡会議	益田市	所長
7月	平成30年度益田圏域障がい者就労支援事業所連絡会	益田市	職業指導員
	島根県障がい者就労事業振興センター連絡会議	益田市	生活支援員
8月	平成30年度相談支援従業者現任研修	出雲市	所長
9月	平成30年度9月民間社会福祉施設職員合同研修会	東京都	所長
	共生型サービス視察研修	下関市 美作市	所長
10月	平成30年度精神障がい者地域移行・地域定着支援事業従事者研修	益田市	職業指導員
	平成30年度共生型サービス特区申請研修	浜田市	所長
12月	平成30年度障がい者就労支援事業所説明会	益田市	所長 生活支援員
	益田圏域農福連携情報交換会	益田市	生活支援員
	平成30年度ひきこもり支援研修会	出雲市	所長
1月	平成30年度第2回益田障がい者就労・生活支援センター連絡会議	益田市	職業指導員
	共生社会フォーラム	岡山市	所長

2月	周南市社協就労B型事業所視察研修会	周南市	所長 職業指導員(2名)
3月	平成30年度第2回島根県障がい者就労事業振興センター連絡会議	浜田市	所長
	平成30年度障がい福祉関係事業者等説明会及び集団指導	浜田市	所長

3) 利用者レクリエーション

実施月	内 容	場 所	参加者
7月	七日市デイサービス交流会	七日市 デイサービス	職員2名 利用者7名
8月	みろく苑夏祭り	みろく苑	職員3名 利用者11名
9月	津和野町わさびの里視察及び 益田ゆめタウンにてお買い物	津和野町 益田市	職員2名 利用者13名
10月	吉賀町内小学生親睦音楽会	六日市町民 体育館	職員2名 利用者10名
11月	柿の収穫	六日市 果樹園	職員2名 利用者8名
12月	クリスマス・忘年会	アスノワ 事業所	職員3名 利用者11名
1月	水木しげる作品美術鑑賞	グラントワ	職員 名 利用者 名
2月	周南市社協1泊2日視察研修	周南市	職員3名 利用者15名

毎週木曜日14:00～14:30お茶会（アスノワ事業所にて）

《2》介護保険課

(1) 吉賀町ホームヘルパーステーション（訪問介護事業）

1、事業概要

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、ご利用者個々の環境に応じて、住み慣れた場所で安心した生活が送れるようにサービスの提供を行い、自宅での様子や、心身の変化等早期発見に努め、ご家族やケアマネジャーへ適宜報告を行うように努めました。又、ご利用者様が抱えているニーズを把握し出来るだけ解決に向け支援を検討実施し、急な訪問や変更にも日々対応できるスケジュール管理を行いました。

職員会議等では、様々なケースの介護及び援助方法などの統一を図り、事業別の研修会にも積極的に参加しました。

事業実績は、子育てヘルパーは増加傾向でしたが、介護保険事業や移送事業、障害自立支援事業は減少となり、生活派遣事業は対象者がいませんでした。

退職者による職員減少と、事業別に有する資格や訪問できるヘルパーの制限がある為、訪問調整が今後の課題です。

2. 実施事業

[1]介護保険事業

月別		総合			介護給付					合計	一日平均
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	実人数	6	7	11	17	7	3	1	2	54	
	利用回数	26	28	72	187	81	28	2	26	450	15
5月	実人数	6	9	13	17	7	3	3	2	60	
	利用回数	39	40	78	215	82	23	18	25	520	16.8
6月	実人数	6	7	14	20	5	2	3	3	60	
	利用回数	34	35	96	208	79	28	12	28	520	17.3
7月	実人数	6	7	15	18	7	1	1	3	58	
	利用回数	34	32	99	215	90	19	2	9	500	16.1
8月	実人数	5	7	16	18	9	2	2	3	62	
	利用回数	25	29	97	214	89	23	6	11	494	15.9
9月	実人数	5	7	16	20	8	2	2	2	62	
	利用回数	26	29	99	213	97	13	5	23	505	16.8
10	実人数	7	8	15	19	9	3	3	3	67	

月	利用回数	36	38	105	226	109	41	11	27	593	19.1
11月	実人数	6	6	15	15	10	6	3	2	63	
	利用回数	30	27	101	181	121	49	10	12	531	17.7
12月	実人数	6	6	15	14	10	6	4	2	63	
	利用回数	25	25	91	173	112	43	11	9	489	15.8
1月	実人数	6	8	13	17	7	4	2	2	59	
	利用回数	24	36	78	169	91	27	4	10	439	14.2
2月	実人数	6	7	12	16	10	5	2	2	60	
	利用回数	26	33	78	175	99	28	10	7	456	16.3
3月	実人数	5	9	12	18	8	6	2	2	62	
	利用回数	22	47	84	195	102	41	6	11	508	16.4
合計	利用回数	347	399	1078	2371	1152	363	97	198	6005	

[2]障害者自立支援事業

障害者自立支援事業	利用者 10 名	利用回数 593 回
同行援護	利用者 2 名	利用回数 13 回
行動援護	利用者 2 名	利用回数 39 回
障害者移動支援事業	利用者 7 名	利用回数 121 回

[3]移送事業

月別	利用者数	利用回数
4月	34	141
5月	30	144
6月	38	154
7月	27	121
8月	36	136
9月	30	112
10月	31	126
11月	27	99
12月	25	109
1月	19	73
2月	24	91
3月	23	98
合計	344	1404

[4]生活管理派遣事業

利用者 0 名 利用回数 0 回

[5]子育て支援ヘルパー 利用者 9 名 利用回数 200 回

[6]軽度生活支援事業 利用者 19 名 利用回数 65 回

3、職員研修（研修・会議等）

月別	研修内容	場所	参加者
4 月	介護保険改正点と総合事業について	福祉センター	12 名
5 月	救命救急講習	防災センター	11 名
	子育てヘルパー研修	福祉センター	1 名
6 月	災害時の対応	福祉センター	11 名
7 月	ヘルパー部会研修	益田市	2 名
	権利擁護研修	福祉センター	12 名
8 月	衛生管理 食中毒予防について	福祉センター	6 名
9 月	共生型サービスの視察	下関市	1 名
	共生型サービスの視察	美作市	1 名
10 月	接遇・マナー	福祉センター	14 名
	老施協全国大会（自立支援介護）	札幌市	1 名
	個別支援計画書の作成の勉強会	福祉センター	4 名
11 月	調理実習	福祉センター	8 名
	メンタルヘルス研修	福祉センター	11 名
	リラックス法（もみもみ研修）	福祉センター	3 名
12 月	リラックス法（もみもみ研修）	福祉センター	5 名
1 月	同行援護研修	福祉センター	4 名
2 月	感染対策研修	福祉センター	14 名
	災害ボランティア研修	福祉センター	1 名
3 月	介護保険サービス事業者集団指導	浜田市	1 名
	障がいサービス事業者集団指導	浜田市	1 名
	発達障がい研修	ふれあい会館	5 名
	統合失調症について	福祉センター	3 名
	障がいの事例検討会	福祉センター	5 名
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス担当者会議 ・ 職員会議 ・ 個別ケース検討会 ・ 安全衛生委員会 	サービス提供責任者 職員全員 サービス提供責任者 担当者	

(2) 六日市デイサービスセンター（通所介護事業）

1、事業概要

2018年度はご利用者、ご家族からのニーズに対応できるよう定員と照らし合わせながら、新規受け入れを積極的に行いました。送迎範囲もこれまでよりも若干広がってはいますが、他事業所と連携を図りながら送迎の稼働力を上げ、実績増につながっていると思われまます。また、昨年度と同様に、利用人数に合わせた人員配置を行い人件費削減、コスト意識の強化に努めました。そして、それによるサービスの質の低下がないよう、機能訓練事業による加算強化、毎月の職員会議では職員ひとりひとりでご利用者のためにできることを話し合いながら実践しました。

2、実施事業

(1)介護保険事業

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	実人数	21	7	5	13	19	12	2	5	2	65	
	利用回数	21	21	18	64	137	104	8	40	15	407	19
5月	実人数	23	7	5	16	19	12	3	6	2	70	
	利用回数	23	30	21	87	151	119	23	47	10	488	21
6月	実人数	21	7	4	15	18	11	3	6	2	66	
	利用回数	21	24	16	85	132	104	24	54	13	452	21
7月	実人数	22	7	5	14	15	10	4	7	0	62	
	利用回数	22	27	19	86	121	93	21	66	0	433	19
8月	実人数	23	6	4	15	13	11	4	7	1	62	
	利用回数	23	20	16	90	119	99	28	68	9	449	19
9月	実人数	20	5	4	17	16	9	4	7	0	62	
	利用回数	20	16	16	93	122	63	18	45	0	373	18
10月	実人数	23	5	5	15	16	9	6	7	1	64	
	利用回数	23	17	19	95	143	74	37	53	12	450	19
11月	実人数	22	5	5	14	16	8	9	5	1	63	
	利用回数	22	18	17	92	144	80	46	43	12	452	20

12月	実人数	21	6	6	14	16	7	9	6	1	65	
	利用回数		20	17	78	151	66	49	47	10	438	20
1月	実人数	20	6	7	11	16	7	9	6	1	63	
	利用回数		19	21	70	146	63	54	41	15	429	21
2月	実人数	20	6	6	12	16	8	6	6	1	61	
	利用回数		19	20	71	141	59	33	42	3	388	19
3月	実人数	21	7	4	12	17	6	5	6	1	58	
	利用回数		22	15	73	155	58	36	45	8	412	19
合計	利用回数	257	253	215	984	1662	982	377	591	107	5171	20

(2)行事

月別	主行事	その他
4月	療育音楽	
5月	避難訓練（みろく苑合同）・療育音楽	町の機能訓練指導
6月	療育音楽	吉賀中1年生福祉教育（2日間） 六日市学園実習（看護科）
7月	療育音楽	
8月	療育音楽	サマーボランティア（吉高生2名）
9月	療育音楽・三味線、尺八演奏	町の機能訓練
10月	療育音楽	六日市学園実習（介護福祉科）
11月	避難訓練・療育音楽	
12月	療育音楽・壁画作り	
1月	療育音楽	町の機能訓練
2月	療育音楽・口腔ケア指導	舞踊と歌披露（藤紫会）
3月	療育音楽・三味線、尺八演奏	職場実習生
その他	百歳体操（毎月一週） 誕生会	

3、職員研修

月別	研修内容	場所	参加者
5月	避難訓練（みろく苑合同）	六日市デイ	6名
7月	権利擁護研修	福祉センター	6名
10月	全職員大会・接遇研修	福祉センター	6名

	ケアプラン研修会 救命講習 益田圏域デイ部会機能訓練研修会	福祉センター 六日市分遣所 もみじの里	2名 2名 1名
11月	避難訓練 メンタルヘルス研修	六日市デイ 福祉センター	6名 6名
3月	集団指導	浜田市	1名
その他	職員会議(毎月) サービス担当者会議		

(3) 七日市デイサービスセンター（通所介護事業）

1、事業概要

今年度は、「七日市をデイサービスから元気にしていく」という目標を立て、利用者さんの満足度アップ、職員の満足度アップ、黒字経営をめざしてきました。まだまだ地域を元気にすることはできませんが、地域との連携交流を図り、福祉教育の受け入れなどを行うことで、利用者さんの笑顔も多く見られたと思います。これからももっと地域の方との交流を図り、地域の起点となるような取り組みをしていきたいと思っています。又、利用者さんや職員の満足度を上げるために毎月職員会議を開き、活発な意見の交換をし実践しました。黒字経営については、定員18名の枠があるので、待機者を作り、なるべく空きがないようにしてきたことや、デイサービス内の整理整頓に力をいれ、業務改善に取り組んできたことで今年は何とか黒字経営ができたと思います。

また運営推進委員会において活動状況を報告し、評価・要望・助言を伺い、事業の運営に生かすよう努めました。

2、実施事業

(1)介護保険事業

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	実人数	21	7	4	7	14	4		2	1	39	
	利用回数		24	16	31	118	44		20	2	255	12.1
5月	実人数	23	7	5	6	15	4	1	2	1	41	
	利用回数		29	17	29	137	58	9	23	9	311	13.5

6月	実人数	21	6	4	7	16	4	2	2	1	42	
	利用回数		23	15	28	139	55	17	20	6	303	14.4
7月	実人数	22	5	4	8	15	4	2	1	1	40	
	利用回数		21	15	41	145	51	11	15	9	308	14.0
8月	実人数	23	5	3	5	18	4	2	1	1	39	
	利用回数		22	14	18	143	58	18	17	9	299	13.0
9月	実人数	20	6	4	4	16	5	2	1	1	39	
	利用回数		21	16	16	121	56	14	16	7	267	13.4
10月	実人数	23	6	4	5	15	7	1	1	1	40	
	利用回数		25	14	23	120	96	14	16	8	316	13.7
11月	実人数	22	5	3	5	15	9	3	1	1	42	
	利用回数		22	10	29	133	111	15	16	9	345	15.7
12月	実人数	21	4	4	5	17	10	2	1	1	44	
	利用回数		15	11	23	113	98	16	16	2	294	14.0
1月	実人数	20	4	2	2	15	9	2	1	1	36	
	利用回数		15	8	8	114	90	16	13	12	276	13.8
2月	実人数	20	4	2	3	14	9	2	1	1	36	
	利用回数		15	8	11	101	92	18	10	11	266	13.3
3月	実人数	21	4	5	4	13	9	2	1	1	39	
	利用回数		15	19	22	111	85	21	13	12	298	14.2
合計	利用回数	257	247	163	279	1495	894	169	195	96	3538	13.7

(2)行事

月別	主行事	その他
4月	花見（芝桜、桜）	
5月		避難訓練
6月	吉賀中学校 福祉体験学習 職場体験活動	運営推進委員会
7月	吉賀高校 サマーボランティアス クール	
8月		折鶴奉納（平和公園）
10月		六日市学園生実習
11月	きん祭みん祭・七力祭りに作品 提出 七日市保育所との交流 歌謡ショー	避難訓練 運営推進委員会
12月	七日市小学校との交流	
1月	公民館との交流 手品ショー	

2月		口腔ケア指導・機能訓練指導
3月	歌謡ショー	

3、職員研修

月別	研修内容	場所	参加者
5月	通所介護の記録について	デイサービスセンター	4名
7月	デイサービス部会研修 権利擁護研修	益田市 福祉センター	1名 4名
8月	ハラスメント研修	福祉センター	1名
9月	共生サービス視察 腰痛研修	下関、岡山 益田市	1名 1名
10月	接遇・マナー研修 機能訓練デイ部会	福祉センター 益田市	4名
11月	メンタル研修 相談員研修 機能訓練指導員研修	福祉センター 益田市	4名 1名
1月			
3月	集団指導	浜田市	1名
その他	職員会議(毎月) サービス担当者会議 所属長会議 安全衛生委員会 新創造計画		

(4) 柿木村デイサービスセンター（通所介護事業）

1、事業概要

今年度の利用者数は、年度当初より順調に推移していましたが、年度途中より入院、施設入所等の影響により、総体的には前年度より微減となりました。

従って経営面においては、依然と厳しい状況が続き、職員配置を含め事業全般の節約に努めました。

事業運営にあっては、利用者の皆さんが楽しみに通所できるデイサービスを目指し、出来る限り要望に応えられるようアクティビティメニューの充実・提供に努めました。また個別機能訓練を強化することにより、新年度加算取得に向けた準備の年度として取り組みを進めました。

その他研修では、自主研修を含め、各種機関が実施した研修会へも積極的に参加し、職員の資質向上を図りました。

2、実施事業

(1)介護保険事業

月別	稼働日	総合事業			予防給付		介護給付					合計	平均	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	実人数	21	9	3	14			12	8	4	1	1	52	
	利用回数		32	12	76			93	95	50	7	14	379	18.0
5月	実人数	23	9	3	17			13	8	4	1	2	57	
	利用回数		40	13	114			120	101	50	8	16	462	20.1
6月	実人数	21	10	3	17			13	8	4	1	1	57	
	利用回数		30	12	107			112	86	51	7	15	420	20.0
7月	実人数	21	8	4	18			9	8	4	1	1	53	
	利用回数		30	15	127			70	100	50	3	14	409	19.5
8月	実人数	23	8	3	16			3	6	2		1	39	
	利用回数		34	12	102			92	91	34		14	379	16.5
9月	実人数	20	7	2	19			11	8	2		1	50	
	利用回数		24	8	113			77	90	32		14	358	17.9
10月	実人数	23	7	2	19			11	8	3	1	1	52	
	利用回数		30	10	128			93	93	47	5	7	413	17.9
11月	実人数	22	8	2	19			12	6	5	1	1	54	
	利用回数		30	8	130			103	79	54	9	11	424	19.3
12月	実人数	21	8		19			14	7	4	1	1	54	
	利用回数		27		112			102	87	46	8	10	392	18.7
1月	実人数	20	6		19			13	7	3	1	1	50	
	利用回数		20		109			120	78	37	4	12	380	19.0
2月	実人数	20	6	1	17			15	6	2		1	48	
	利用回数		23	3	97			135	70	32		12	372	18.6
3月	実人数	21	7	2	17			17	7	3		1	54	
	利用回数		26	9	97			167	83	35		2	419	19.9
合計	利用回数	256	346	102	1312			1284	1053	518	51	141	4807	18.8

(2)行事

月別	主行事	その他
4月	所外活動（桜見学・町内ほか） 誕生会	交通安全立哨 地域リハビリ
5月	所外活動（つつじ、しゃくなげ見学・町内ほか） 誕生会	
6月	所外活動（案山子、あじさい見学・町内） おやつ作り（かしわ団子） 誕生会	福祉ゾーン清掃ボランティア活動 益田養護学校実習生受け入れ
7月	柿小児童との交流会（七夕祭り） おやつ作り（フルーチェ） 誕生会	
8月	誕生会	柿木中学校職場体験学習実習受け入れ 地域リハビリ
9月	所外活動（彼岸花見学） 敬老会（ボランティアによる寸劇ほか） 誕生会	交通安全立哨
10月	おやつ作り（どら焼き） 所外活動（そばの花見学・町内） 誕生会	六日市学園実習生受け入れ（4名）
11月	所外活動（もみじ狩り・町内） 誕生会	防火訓練（避難・通報・消火訓練）
12月	忘年会（神楽ほか） 柿小児童との交流会（ふれあい交流） 誕生会	
1月	福笑い 百人一首 誕生会	
2月	節分祭（豆まき） 柿小児童との交流会（ふれあい交流） 誕生会	
3月	誕生会 JAおやつサービス	防火訓練（避難・通報・消火訓練） 口腔ケア指導

3、職員研修

月別	研 修 内 容	場 所	参加者
4月	益田圏域老人福祉施設協議会施設長会議	益田市	1名
5月	島根県老人福祉施設協議会デイ部会研修会	松江市	1名
7月	平成30年度権利擁護研修会	柿木・六日市	4名
8月	第50回中国地区福祉施設研修会	広島市	2名
10月	救命講習	柿木	4名
	全職員大会・接遇マナー研修	柿木	3名
	ケアプラン研修	六日市	2名
	益田圏域老施協デイ部会看護師部会研修	益田市	1名
	交通安全教室	六日市	1名
11月	ハラスメント研修	六日市	2名
	メンタルヘルス研修	柿木・六日市	5名
	益田圏域老施協デイ部会生活相談員部会研修会	益田市	1名
12月	益田圏域老施協デイ部会看護職員研修	益田市	1名
2月	島根県老人福祉施設協議会デイ部会会議	松江市	1名
3月	介護保険サービス事業者集団指導	浜田市	1名
その他	職員会議(毎月) サービス担当者会議 3デイ所属長会議 安全衛生委員会 給食会議 新創造計画		

(5) 吉賀町訪問入浴介護事業所（訪問入浴介護事業）

1、事業概要

平成30年度はご利用者が1名、実績も3件となりました。利用された方はターミナル期のご利用者で、当日の健康状態により中止となることもありましたが、自宅で入浴ができたことに満足いただきました。しかし、6月以降は新規の依頼もなく、訪問入浴事業を必要とするケースもないような見込みとなっています。利用がないとなると入浴車の維持、事業運営についても課題があるのではないかと考えられます。

2、実施事業

(1)介護保険事業

月別		予防給付		介護給付					合計	平均
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	実人数	0	0	0	0	0	0	1	1	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	1	1	
5月	実人数	0	0	0	0	0	0	1	1	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	2	2	
6月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
7月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
8月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
11月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
12月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
1月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
2月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
3月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	利用回数	0	0	0	0	0	0	3	3	

(2)職員研修（研修・会議等）

- ・ サービス担当者会議（随時）

Ⅲ. 施設福祉部

《1》特別養護老人ホームみろく苑（介護老人福祉施設）

1、事業概要

ご利用者様に対し「尊敬」「思いやり」の心で接し、「自律した生活」の支援を行うことを運営理念とし、できるだけ長くみろく苑で過ごして頂くために、異常の早期発見や予防、機能訓練にも引き続き取り組みましたが、入居者様の重度化や夏期の風邪の流行等により1年を通して入院が多く稼働目標が下回りました。

入居者様やご家族の要望に耳を傾け、お一人お一人がその人らしく暮らして頂けるような取り組みをユニットごとに継続して行いました。その中で、看取りケアまでには至りませんでした。終末期の方を医療と連携しながらぎりぎりまで施設でケアすることができました。また、入居時におけるリスクについて説明書を作成し、文書でわかり易く説明することを心がけ、ご理解いただけるようにしました。リフトの操作方法や移乗等の研修を行い入居者様や職員の負担軽減及び事故防止に努めました。さらにボランティアの受け入れ等、地域との関わりも意識的に行いました。

施設整備については、小規模施設の空調設備改修工事、介護用ベッドの整備等を実施しました。

2、実施事業

(1)動向

月別	入居者	退居者	入院者数	入院 延べ日数	29年度 入院 者数 (苑全体)	29年度 入院 延べ日数 (苑全体)
4月	0名	0名	3名(小) 0名(地)	42日(小) 0日(地)	5名	64日
5月	1名 (小規模)	1名 (小規模)	3名(小) 0名(地)	46日(小) 0日(地)	3名	36日
6月	0名	0名	1名(小) 0名(地)	5日(小) 0日(地)	1名	5日

7月	1名 (小規模)	2名 (小・地)	4名(小) 2名(地)	41日(小) 15日(地)	1名	13日
8月	1名 (地域)	0名	8名(小) 1名(地)	106日(小) 23日(地)	5名	63日
9月	0名	0名	5名(小) 1名(地)	65日(小) 4日(地)	5名	80日
10月	1名 (小規模)	1名 (小規模)	4名(小) 2名(地)	32日(小) 32日(地)	6名	118日
11月	3名 (小・地)	3名 (小・地)	7名(小) 5名(地)	84日(小) 31日(地)	7名	118日
12月	1名 (地域)	2名 (地域)	7名(小) 5名(地)	103日(小) 110日(地)	9名	102日
1月	3名 (地域)	3名 (小・地)	2名(小) 3名(地)	36日(小) 32日(地)	6名	79日
2月	3名 (小・地)	3名 (小・地)	1名(小) 5名(地)	22日(小) 60日(地)	7名	59日
3月	1名 (小規)	0名	0名(小) 4名(地)	0日(小) 69日(地)	8名	97日
合計	15名	15名	73名	958日	63名	834日

(2)介護度別人数

月別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均値
4月	1	5	16	17	11	3.6
5月	1	5	16	17	11	3.6
6月	0	7	15	17	11	3.6
7月	0	5	15	19	11	3.7
8月	1	5	15	18	11	3.7
9月	1	5	15	18	11	3.7
10月	1	5	15	18	11	3.7
11月	1	5	15	18	14	3.7
12月	1	5	15	17	13	3.7
1月	1	5	17	16	13	3.7
2月	1	5	19	16	11	3.6
3月	1	5	17	16	11	3.6

(3)研修の状況

【施設内研修】

○事業所別

- ・ 機能訓練指導（六日市病院理学療法士、言語聴覚士による指導を毎月実施）
- ・ 介護技術研修
身体拘束廃止、権利擁護（スピーチロック）・認知症の理解、事故防止（救急救命、吸引器の使い方、リフト移乗動作）、腰痛予防、感染予防、衛生管理、栄養バランスチャート、介護保険制度(加算の理解)、排泄ケア、マッサージ

○社協全体

権利擁護、接遇マナー、メンタルヘルス、救急救命

【施設外研修】

月別	研修内容	場所	参加者
4月	益田圏域老施協施設長会	益田市	1名
5月	権利擁護推進員研修 前期	浜田市	1名
6月	認知症介護実践研修実践者研修 I期、II期	浜田市	1名
	認知症介護実践研修実践者研修 III期（実習）	益田市	1名
	主任介護支援専門員更新研修	浜田市	1名
7月	島根県老人福祉施設協議会第1回総会	松江市	1名
	主任介護支援専門員更新研修	浜田市	1名
	食形態の選択・変更のタイミングと食事ケアセミナー	広島市	1名
	認知症介護実践研修実践者研修 IV期	浜田市	1名
8月	防火管理者甲種新規講習	益田市	1名
	主任介護支援専門員更新研修	浜田市	1名
	労務管理研修	浜田市	2名
	認知症介護実践研修実践者研修 V期（実習）	益田市	1名
9月	権利擁護推進員研修 後期	浜田市	1名
	介護支援専門員専門研修課程II I期	浜田市	2名
	益田圏域老施協 事務職員部会	益田市	1名
10月	介護支援専門員専門研修課程II II期、III期	浜田市	2名
	ユニットケア施設管理者研修	東京	1名
	認知症介護実践研修基礎研修	浜田市	1名
	福祉サービス苦情解決研修会	松江市	1名
	認定調査員等研修会	益田市	1名
	益田圏域老施協 機能訓練指導員部会	益田市	1名

	全国老施協研究会議	北海道	2名
11月	益田圏域老施協 生活指導員部会	益田市	1名
	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ IV期	浜田市	2名
	褥瘡予防の為にのポジショニング	広島市	4名
12月	社会福祉士実習指導者講習会	松江市	1名
2月	益田圏域老施協 看護師部会	益田市	1名
3月	これからの小規模特養の在り方を考える座談会	松江市	1名
	平成30年度介護保険サービス事業集団指導	浜田市	1名

3、短期入所サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
前年度延利用者数	143	218	167	170	204	179	218	175	181	206	185	182	2259
今年度延利用者数	158	193	192	206	176	151	164	225	156	186	175	219	2201
稼働率(%)	65.8	79.8	78.6	90.7	76.6	78.2	72.2	90.7	62.9	75.0	70.6	88.3	75.4

《2》特別養護老人ホームとびのこ苑（介護老人福祉施設）

1、事業概要

とびのこ苑では今年度 QOL 委員会を立ち上げ、ケアプランに沿った記録の内容や方法を検討する場を定期的に持ち、入居者の方の自立支援介護への導入に取り組みました。

各医療機関・専門職と連携し、看護職員と介護職員と機能訓練指導員が一体となって生活支援を行うとともに、看取り指針にそって6名の方の看取りをおこなうことができました。

今年度より給食を再加熱カートを使用したクックチル方式で行い、経費削減と温かい食事の提供につなげました。

2、実施事業

(1)動向

月	入居者	退居者	入院者数	入院 延べ日数	29年度 入院者数 (苑全体)	29年度 入院 延べ日数 (苑全体)
4月	1名(小規模)	1名(小規模)	1名(小)	1(小)	2名	18日
5月	1名(地域)	1名(地域)	1名(小) 2名(地)	22(小) 29(地)	1名	9日
6月	1名(小規模)	2名(小規模)	2名(小) 2名(地)	5(小) 23(地)	2名	20日
7月	1名(小規模) 1名(地域)	1名(地域)	4名(小)	45(小)	2名	15日
8月			8名(小)	92(小)	3名	57日
9月	2名(小規模) 1名(地域)	2名(小規模) 1名(地域)	10名(小)	105(小)	1名	15日
10月	1名(小規模)	2名(小規模)	9名(小)	87(小)	1名	9日
11月	1名(小規模)	2名(小規模)	2名(小)	43(小)	4名	29日
12月	3名(小規模)	1名(小規模)	2名(小)	2(小)	2名	35日
1月		1名(地域)	1名(小)	25(小)	4名	48日
2月	1名(地域)		1名(小) 1名(地)	9(小) 6(地)	3名	32日
3月			2名(小) 1名(地)	13(小) 11(地)	1名	1日
合計	14名	14名	49名	518日	26名	288日

(2)介護度別人数

月	要 介 護 度					平均値
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	

4月	2	1	21	15	12	3.66
5月	1	2	21	15	12	3.68
6月	1	2	19	17	11	3.70
7月	1	2	19	18	11	3.70
8月	0	3	18	16	12	3.75
9月	0	3	19	17	13	3.76
10月	0	3	18	17	12	3.76
11月	0	3	19	18	9	3.67
12月	0	2	18	20	10	3.68
1月	0	3	16	22	9	3.74
2月	0	3	16	23	8	3.72
3月	0	3	16	23	8	3.72

(3)研修の状況

【施設内研修】

実施月	研修内容	講師（所属）	参加者
毎月	介護技術伝達研修	介護主任・ 機能訓練指導員	63名
4月・10月	虐待防止研修会	施設長 他	31名
6月・11月・12月	感染対策・褥瘡予防 研修	看護主任 他	62名
5月・7月	移乗動作・経口摂取	ST・PT	16名
8月・3月	事故防止研修	委員会	36名
9月	AEDの取扱い	アルソック	36名
10月	看取り研修	看護師	17名
11月・3月	避難訓練	分遣所	52名
2月	ユニットリーダー 研修	介護主任	17名

【施設外研修】

実施月	研修内容	場 所	参加者
4 月	施設・保険者連絡会議	益田市	1 名
	新人職員マナー研修	浜田市	1 名
5 月	権利擁護推進員研修	浜田市	1 名
	医・介護多職種研修	益田市	4 名
	医・施設栄養士連絡会	益田市	1 名
6 月	ケアマネ専門研修課程□	浜田市	1 名
	認知症介護実践者研修	浜田市	1 名
	ユニットケア施設監理者研修	東京	1 名
8 月	防火管理者研修	益田市	1 名
	衛生管理研修	吉賀町	4 名
	持ち上げないケアをするための姿勢管理ケア	浜田市	2 名
	介護福祉士実習指導者研修	松江市	1 名
	労務管理研修	浜田市	2 名
	ACP の取り組み	吉賀町	2 名
	高齢者の看取りケア	出雲	1 名
9 月	事務員部会	益田市	1 名
	権利擁護推進員研修	浜田市	1 名
10 月	認知症介護基礎研修	浜田市	2 名
	苦情解決の取り組み	松江市	1 名
	認定調査委員研修	益田市	1 名
	機能訓練指導員部会	益田市	1 名
	看護師部会	益田市	1 名

	ELNEC 研修会	出雲市	1名
	自立支援研究発表会	北海道	2名
11月	生活相談員部会	益田市	1名
	認知症を理解する	吉賀町	12名
12月	ユニットリーダー研修	鳥取市	1名
2月	災害ボランティアセンターの運営	吉賀町	2名
3月	発達障害について	吉賀町	1名
	心の講座統合失調	吉賀町	1名
	集団指導（介護）	浜田市	3名
	集団指導（障害）	浜田市	2名

3、短期入所生活介護サービス利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
前年度 延利用者数	108	109	97	108	113	105	107	102	108	80	93	82	1212
今年度述べ 利用者数	85	93	95	112	111	101	84	125	110	110	86	69	1181
稼働率 (%)	70.8	75	79.1	90.3	89.5	84.1	67.7	104.	88.7	88.7	76.7	55.6	80.8

《3》グループホームあさくら（認知症対応型共同生活介護事業）

1、事業概要

平成30年度は入居者の体調管理の徹底や早めの受診を行い、目標稼働率の達成に努めました。日常的にかかりつけ医や家族との連絡相談をこまめに行いながら、早期退院や退院後の生活場所の調整を行いました。また、認知症に関する研修への参加を積極的に行い職員のスキルアップをはかるとともに、益田圏域グループホーム協会の研修会への参加により情報共有に努めました。

入居者のできる事を大切にし、「その人らしく暮らせる」よう支援するとともに、地域との交流ができる機会を作り関係維持にも努めました。

1、実施事業

(1)行事

月別	行事	その他
4月	誕生会 桜花見食事会 町内桜見物 家族会	害虫駆除 交通立哨
5月	誕生会 母の日 外出（山口県）、外出(柿木)	第1回運営推進会 害虫駆除 消防機材点検 担当者会議
6月	父の日 朝倉小学校、地域合同運動会参加 落語観劇 外出（お墓参り） 誕生会 外出（下松市）	シルバー除草作業 害虫駆除 担当者会議
7月	七夕（ソーメン流し、鮎食い） 朝倉小学校交流 将棋同好会参加 神楽大会観劇 自宅訪問 ホットケーキ作り	第2回運営推進会議 害虫駆除 担当者会議
8月	朝倉地区夏祭り参加 地域サロン参加	結核検診移動検診車駐車場提供 害虫駆除 担当者会議
9月	朝倉地区敬老会出席 スイートポテト作り、おはぎ作り 入居者誕生会 朝倉小学校サクラマス交流 外出（錦町） 秋祭り	第3回運営推進会議 害虫駆除 担当者会議 交通立哨
10月	外出（リンゴ狩り、蕎麦祭り） 干し柿作り 地域サロン参加	害虫駆除 防火訓練 担当者会議

〔1月 2 ） 職 員 研	朝倉保育所園児交流 クリスマス会 餅つき クリスマスリース・輪飾り作り 誕生会 外出支援	第4回運営推進会議 害虫駆除
修2月	朝倉地区獅子舞 正月初詣（3名） 書初め 熊野書道展出展	消防機材総合点検 害虫駆除
H30 1月	節分 恵方巻き作り ホットケーキ作り	害虫駆除 第5回運営推進会議
2月	ひな祭り お寿司作り 三郷の里ふれあい祭り参加 おはぎ作り 誕生会 外出 仲間の会	害虫駆除
3月	三郷の里ふれあい祭り ひな祭りお寿司作り おはぎ作り	第6回運営推進会議 害虫駆除 防火訓練

月別	研修内容	場所	参加者
4月	益田圏域GH管理者会議	益田市	1名
5月	益田圏域GH管理者会議	益田市	1名
6月	益田圏域GH管理者会議	益田市	1名
	益田圏域GH研修会	益田市	3名
	認知症実践者研修	浜田市	1名
7月	益田圏域GH管理者会議	益田市	1名
	認知症実践リーダー研修	法人内	6名
	認知症実践者研修	浜田市	1名
	権利擁護研修会	浜田市	1名

8月	衛生管理研修 認知症実践リーダー研修 認知症実践者研修	法人内 浜田市 浜田市	3名 1名 1名
9月	益田圏域GH管理者会議 メンタルヘルス研修 認知症実践リーダー研修	益田市 法人内 浜田市	1名 4名 1名
10月	接遇マナー研修 益田圏域災害対策研修 認知症実践リーダー研修 認知症基礎研修	法人内 益田市 浜田市 浜田市	5名 3名 1名 1名
11月	メンタルヘルス研修 認知症実践者研修報告研修 益田圏域GH管理者会議	法人内 法人内 益田市	4名 4名 1名
1月	認知症実践リーダー研修	浜田市	1名

(3)ボランティア

8/1、8/3	サマーボランティア	1名
9/19	園芸ボランティア（吉賀中学校）	6名
11/15	J Aおやつサービス	
H30. 3/12	J Aおやつサービス	

(4)利用状況 (単位：人・日・%)

月別	利用者数	延利用者数	予防	介護給付					稼働率
			給付	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	
			要支援	1	2	3	4	5	
4月	9	270	0	2	3	3	0	1	100
5月	9	279	0	2	3	3	0	1	100
6月	9	256	0	2	4	2	0	1	91
7月	9	279	0	2	4	2	0	1	100
8月	9	252	0	3	4	2	0	1	96
9月	9	265	0	3	4	2	0	0	98
10月	9	262	0	4	4	1	0	0	94
11月	9	263	0	4	4	1	0	0	97
12月	9	262	0	4	4	1	0	0	93
1月	9	276	0	4	4	1	0	0	99
2月	9	252	0	4	4	1	0	0	100

3月	9	279	0	4	3	3	0	0	100
平均	9		年間稼働率 $3,186 \div (365 \times 9) = 0.96$ 96%						
合計		3,186							

(5)通所介護

(単位：人・回)

月別	利用者数	延利用者数	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	1	3	0	0	0	0	3	0
5月	1	1	0	0	0	0	1	0
6月	1	2	0	0	0	0	2	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	1	2	0	0	0	0	2	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	2	0	0	0	0	2	0
11月	1	2	0	0	0	0	2	0
12月	1	1	0	0	0	0	1	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	1	1	0	0	0	0	1	0
合計		14	0	0	0	0	14	0

IV. 苦情・要望の内容一覧表（H30年度）

1	発生事業	総合相談支援所
	内容	訪問員を利用しているが、毎月利用料を集金に来ない。集金の計画を立て、定期的に集金に来てほしい。
	対応	訪問し謝罪する。今後は半年に一度に集金させてもらうことを説明。
2	発生事業	七日市デイサービスセンター
	内容	介護保険の改正による同意書で、サインした覚えがないと本人が言っている。また、要支援1のはずが2にチェックしてある。
	対応	訪問し謝罪する。今後は本人サインをもらう場合は、家族にも同席してもらう。介護度が変わった場合は、日誌等をすぐ変更するように徹底する。
3	発生事業	総務部
	内容	退職した職員の昨年の手当が支給されていなかった。そのことを本人の妻へ伝え、支払いミスに関して本人への謝罪もなかった。
	対応	お詫び文章を会長名で発送。
4	発生事業	シルバー人材センター
	内容	シルバー会員による除草作業中に、現場近くの家から、小屋や車に石が当たり傷が入ったが、それに関わる電話対応が悪かった。また、連絡なしに早朝から作業していた。
	対応	謝罪し事故として保険で対応。除草作業において、民家がある場合には事前連絡をすることを徹底した。
5	発生事業	みろく苑
	内容	利用者より洗面台や個室のフロア・入口等の汚れが気になる。
	対応	お詫びを伝え、現場職員に当番を決めて毎朝掃除を行うことを徹底した。
6	発生事業	ヘルパーステーション
	内容	訪問時間を過ぎてもヘルパーが来ず、連絡も付かない。
	対応	お詫びを伝え、再発防止に向けて提供票を確認することを徹底する。
7	発生事業	アスノワ
	内容	職員が利用者のことをあだ名で呼ぶので呼ばないようにしてほしい。
	対応	利用者と呼ぶ時には名前と呼ぶように指導し、職員と利用者は対等の関係であることを意識づける。
8	発生事業	アスノワ
	内容	利用者家族から利用者の出勤状況等の個人情報が漏れていると苦情。
	対応	守秘義務を意識しながら、仕事をしていかなければならないことを職員間で共有。
9	発生事業	ヘルパーステーション
	内容	ヘルパーがパーキンソン病の利用者に対してあれもこれもやっってくださいと言ってくる。自立支援は頼んでいない。
	対応	担当ケアマネと訪問し謝罪と事情を聴く。サービスの手順書を見直しヘルパー間で意思の統一を図る。
	発生事業	みろく苑

10	内 容	利用者が車いすからベッドへの移乗の際、職員が不適切な言葉を投げかけた。利用者は翌日の朝食時、声掛けをしたところ、部屋から出たくない、食事が欲しくないと訴えた。
	対 応	利用者と家族に対して、施設長が謝罪し虐待防止委員会に報告する。 職員に事実確認と適切な接遇についての指導を行う。